

秦皇島港石炭バース第4期建設事業(1)(2)



秦皇島港

借款概要

承諾額/実行額	11,122百万円/10,717百万円
借款契約調印	1993年8月及び1995年1月
借款契約条件	金利2.6%、返済30年（据置10年）
貸付完了	1998年9月及び2000年2月

事業概要

河北省秦皇島港市に石炭用輸移出用ターミナルを新規に建設することにより同港の石炭取扱需要の急増に対処するもの。

評価結果

本事業完了後、取扱量は増加しているものの、目標年間石炭取扱量3,000万トンには達していない。完成が7ヶ月遅れたこともあるが、鉄鋼需要の伸び悩み、更に環境問題によるエネルギー転換政策等、石炭生産量の伸びが停滞していることが要因である。しかし、2000年の第4期バースの年間取扱実績は2,503万トンと昨年実績を上回り過去最高の取扱量に達している。同国最大の石炭輸移出ターミナル第4期バース建設により、約700名分の新たな雇用が創出された。

維持管理に関しては、長年に亘る港湾運営の経験を有する秦皇島港務局第7港務公司が実施しており、自立発展性については概ね問題ない。なお、第4期バースの収支は、営業収入が維持管理費を上回っているが、石炭の取扱量により本事業の収益は大きく左右されるといえる。